

あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくれます 都教組八王子支部

都教組八王子支部ニュース No.4 2026/7/23

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nitty.com



LINE



HP



E-mail

夏季休業中の「テレワーク」のこと、校長さんは話されましたか？

都は2023年（令和5年）3月、「在宅勤務型テレワーク実施要項」を制定し、すでに全都の小中学校・義務教育学校で運用されています。八王子市も兼ねてから実施されていたのですが、あらためて今年度初めに、都の要綱に準拠することを各学校に通知しました。要綱の要点を紹介します。

- ・育児、介護者などが優先だが、「公務の適正な運営に支障がない」限り、対象は「すべての職員」。
- ・目的は「柔軟で多様な働き方の推進」。育児・介護等と仕事の両立など、多様な働き方の選択肢の一つとして、最適な働き方を目指していくことを目的とする。災害時や非常時における業務継続の観点からも重要。（都の要綱 Q&A の1）
- ・実施中は当然「職務専念義務」あり。育児・介護など私用のために職務を離れる場合は、テレワークではなく、休暇になる。
- ・手続きは、前日までに希望教職員が指定の用紙で申請。所属長が適否を判断。

テレワーク以外にも、時差勤務など多様な働き方が推進されています。とくに、テレワークは、授業がないこの時期に向いていて、「子どもを学童に送ってからテレワークに専念できるので、学期中に比べて教材研究がたっぷりできる。」などの利点があります。円滑に実施されている職場では、酷暑の中通勤する時間や健康面の負担を軽減し、効率よく成果を上げています。

各学校の管理職の手元にテレワークの実施要項や関連書類があります。希望する方は申し出てみましょう。不明な点は組合にご相談ください。

学校司書の増員を求める請願不採択 無視された 8093 筆！

6月16日の文教経済委員会にて、8093筆を集めた学校司書の増員を求める請願署名の討論・採決がありました。討論では、市から子どもの実態や教育現場の話はなく、また現場からの要望がない、文科省の基準通り司書を全校配置しており今後教育全般に目を向けて考えていくとの説明があり、請願に賛成は共産党、反対派は自民、公明、立憲、諸派で不採択になりました。近隣の市と比較しても決して先進とは言えない八王子市の現状で、『読書のまち八王子』を謳うのは寂しい限りです。現場からの要望がないとは、どこの話なのでしょう。八王子に異動すると貧しい学校司書配置にガッカリする教員の声はよく聞く話です。支部は八王子に司書が配置される以前から何度も現場の声を市教委に伝えてきました。委員会の採決を受け、25日の本会議では15分の時間ギリギリまで熱心な賛成討論がありましたが、共産党、生活者ネットの賛成、自民、公明、立憲、諸派の反対で不採択になりました。文教経済委員会36名、本会議26名の傍聴者が注視する中での不採択、これが八王子の実態との声もありましたが、エアコン設置に続きこれからが正念場であります。

若手5名が参加！6.19 学習会『教員生活入門』

クイズです！

次のうち扶養手当の支給対象にならないのは、どの場合でしょう。

- ア．主として職員の扶養を受けている5歳の孫
- イ．パート収入の見込み額が年85万円の配偶者
- ウ．年金収入見込み額が年125万円の66歳の実母

こんな、「知って得するクイズ～給与・福利厚生・勤務時間」から開始。全部で6問でしたが、ベテランメンバーでもわからないものがあり、逆に若手参加者のおひとりが全問正解。続いて給料が決まる仕組みや休暇の種類などを確認。さらに、組合の役割、保険や貯金についても学びました。「センセイマモル」などの共済保険や、労働金庫が、一般の保険会社や銀行と違い、営利目的ではなく組合を中心にした助け合いのネットワークであることも知られました。

若手参加者からは、「主任教諭や主幹って、みんな目指すもの？何年目くらいで試験を受けたりする？」などの質問や、「授業がやりたくて先生になった。今は算数の授業が気になっている。教科書通りでは子どもにわかりにくいのもっと工夫したい」などの発言がありました。次回も、ぜひ誘い合ってご参加を！

★クイズ6問と解答は、支部ホームページでご覧ください。

★7月初めの数日間、支部ホームページが閲覧できない状況になっていました。ご迷惑をおかけしました。現在は見られます。ぜひご覧ください。

子どものことで心を寄せ合おう！



共感を呼んだ 6.20 都教組障害児学級部の大会宣言

大会の時だけではもったいない。ぜひ、みんなで読みあいましょう。大きな共感を呼んだ大会宣言の文章なので、これから4回に分けてご紹介します。

「あたらしい一年生、先生、楽しみですね。とうま、ゆうた、はるき、ゆめこ、さかもと、あとはまかしてください。ありがとうございます。」(原文*名前は仮名)

今年の三月。当時中学二年生だった生徒が、異動する私に向けて書いてくれた手紙の最後の文です。この年、学級には三年生がいなかったのも、いよいよ自分たちが最上級生になるという意欲と期待に満ちて、一方では不安や緊張もある時期だったと思います。そんな中での担任の異動。「なんでだよー！」という思いもあったろうに、出てきた言葉は「まかしてください」でした。そしてその前には仲間全員の名前がありました。さらにまだ見ぬ新入生たちのことも。言葉はたどたどしいですが、この短い文の中には仲間への、そして自分自身への信頼と期待が詰まっています。一緒に過ごしてきた二年間という時間がそれらを支え、創り上げてきたのだと感じ、胸が熱くなりました。(続く)

支部大会議案はすべて採択されました。



6月10日に行われた支部大会は、当日議案の採択には至りませんでしたが、当日参加された組合員、参加できなかった組合員の皆様の総意を受け、経過報告、会計報告、運動方針案、予算案全て採択されましたことをご報告いたします。ご協力ありがとうございました。